

温泉を活かした地域活性化・地方創生の推進に係る要望書

温泉は古来より湯治に利用されるなど国民の保健療養に寄与してきたほか現在に至るまで地域の観光資源として重要な役割を果たしてきました。また、昨今、観光振興や健康増進としての利用のみならず熱エネルギーとしての利活用など、温暖化対策推進の観点からの温泉資源の活用も進められているところです。

一方、特にバブル期以降の旅行形態や観光ニーズの多様化、さらに地方における過疎化、高齢化の進行等といった社会情勢の変化に伴い、温泉地では旅館の倒産や利用者の減少等の進行が大きな課題となっています。

また、平成23年3月に発生した東日本大震災が東北地方の温泉地にも及ぼした甚大な影響は記憶に新しく、さらに昨年は4月の熊本地震や10月の鳥取県中部地震により、温泉地における直接被害はもとより、風評被害等により地域の観光・経済が大きな打撃を受けるなど、我が国の温泉地をとりまく現状は非常に厳しいものとなっています。

我が国では2020年に東京オリンピック・パラリンピックの開催が予定されるなか、政府としてもインバウンド対応を「観光先進国」としての起爆剤とすべく、訪日外国人旅行者数を2020年までに4000万人、また地方部での外国人延べ宿泊者数を2020年までに7000万人とすることを新たな目標に掲げています。各温泉地においては、外国人旅行者の積極的な誘致策の展開に伴う受け入れ体制の整備、ユニバーサル対応等も大きな課題となっています。

上記の背景を踏まえ、国におかれては、下記のとおり、温泉地の活性化と地方創生にむけて、国民保養温泉地を含め全国の温泉地における温泉の多様な利用の推進と魅力向上を図るための支援措置を強力に推進していただくよう、要望いたします。

記

1. 魅力ある温泉地の構築を目指し、国民保養温泉地制度の充実強化をはじめ、温泉のみならず、自然、歴史、食といった地域資源を活用した温泉地活性化・観光振興策のソフト・ハード両面に対する財政的支援のみならず多角的な支援を行うこと。
2. 魅力ある温泉地を創るには、地域全体が一丸となることが重要である。国は、その土台となる組織づくり、マスタープランづくり、人づくり（温泉地で働く人が温泉を学ぶな

ど)等を支援すること。また、温泉地と企業やNPOといった多業種が連携する新たなコンテンツ創造を支援すること。

3. 温泉地は単なる観光地のみならず、湯治などに代表されるように古くからの健康増進の場であり、温泉の効能などが期待される。湯治文化に再注目し、温泉利活用による国民の健康づくり、特に予防医療に寄与できる社会の仕組みづくり、温泉療養の仕組みや健康づくりのプログラムの構築など、先導的で先進的な個性ある政策（戦略）を支援すること。
4. 温泉利活用による予防医療・健康づくりには、バックデータとなる人体に及ぼす医科学的な効能が重要であり、官民一体となった温泉療養、飲泉等のエビデンス調査研究を行い、その結果を国内外に広く啓発すること。また、国民の心身の健康・リフレッシュなど温泉の多様な利用の推進に資するための情報発信を実施すること。
5. 世界に通用する温泉地を形成すべく、世界の温泉地と連携するなど、ONSENのブランド化を図ること。また訪日外国人旅行客の誘致及び受け入れ体制・環境整備に関する取組みの推進並びに支援を行うこと。
6. 温泉の未利用熱のポテンシャルが膨大であることを踏まえ、温泉の未利用熱を活かす温泉地への支援の充実をはかること。
7. 全国温泉地サミットの継続開催を含め自治体間のネットワーク構築と連携強化に関する支援協力を行うこと。

平成29年5月15日

第2回全国温泉地サミット

全国温泉地自治体首長会議 参加者

山口県 長門市長

大西倉雄

静岡県 熱海市長 齊藤栄

静岡県 伊東市 観光経済部長 杉本仁

静岡県 島田市 産業観光部長 北川雅之

静岡県牧之原市産業経済部長 辻 長典

三重県 菟野町長 石原 正敬

兵庫県豊岡市城崎振興局長 戸瀬邦夫

兵庫県美郷郡新温泉町 副町長 小西清可

鳥取県倉吉市企画振興部長 徳丸夫則

鳥取県岩美郡岩美町長 榎本武利

岡山県真庭市長 太田 昇

岡山県美作市政策参与 山下 亨

香川県高松市創造都市推進局参事 長井 一喜

佐賀県嬉野市長 谷口太一郎

長崎県島原市長 古川隆三郎

長崎県雲仙市副市長 酒井利初

熊本県上天草市長 堀江隆臣

熊本県阿蘇市経済部長 吉良 玲二

熊本県阿蘇郡小国町長 北里 耕次

大分県別府市長 長野恭紘

大分県 竹田町長 菅原 勝次

北海道 二子町長 片山健也

北海道 洞爺湖町長 真屋敏春

宮城県 蔵王町長 村上英人

秋田県 入館市長 福原淳嗣

秋田県 八峰町長 加藤和夫

秋田県 三種町長 三浦正隆

山形県 鮎川村長 元木洋介

福島県 西郷村長 佐藤正博

栃木県 日光市観光部長 長南哲生

神奈川県 箱根町企画観光部長 吉田功

新潟県 村上市副市長 忠 聡

新潟県 関川村副村長 佐藤忠彦

石川県 加賀市副市長 河合篤史

山梨県 北杜市観光部長 丸茂和彦

山梨県 身延町高坂支所長 柿島利巳

長野県 上田市市長 母沢創一

長野県 諏訪市水道局長 河 西 浩 中

長野県 小内町 副町長 柳 洋五郎

山梨県 下呂市長 服部 秀洋

静岡県 静岡市 副市長 美濃部 雄人

宮城県 大崎市長 伊藤 康志

北海道 釧路市長 野永 哲雄

青森県 蓬田村長 久慈 修一

岩手県 花巻市長 上田 東一